

令和元年度事業報告承認の件

1 病虫害等防除推進事業

〈事業の内容〉

農作物や花木類に発生する病虫害や雑草の防除法に関する指導・助言、関連情報の提供、植物防疫指導者研修会の開催、農薬適正使用の啓発等を通じ、安全で安心な県産農産物の安定生産に寄与する事業であり、事業費は会費および県補助金によった。

※ 県補助金の名称: 公益社団法人石川県植物防疫協会事業費補助金

(1) 防除相談・指導業務

農家、農業団体等の現場指導者から持ち込まれる病虫害等の診断・同定と防除指導、野菜の栽培法について 20 件の相談に応じた。

また、農薬の適正かつ効率的な使用に基づく病虫害・雑草の防除を推進するため、県が編集する「農作物病虫害・雑草防除指針」を増刷(380 部)し、会員、現場指導に携わる農業団体等に提供した。

(2) 農薬危害防止啓発業務

県と連携して農薬危害防止運動(6月1日～8月31日)に取り組み、当協会ではチラシ 7,400 枚を作成し、農家や一般県民に対して農薬に対する正しい知識と適正な使用を啓発した。

(3) 研修会開催業務

農業の現場指導者を対象に技術力向上を目的として、病虫害や雑草の防除等に関する新しい専門知識等について専門家を招聘した研修会を開催している。

近年は、小型無人航空機(無人ヘリコプター、ドローン)による防除技術の現状と課題をテーマに開催しており、令和元年度は「農業と環境を考える」をテーマに、近年の異常気象の状況とその要因および農業の取り組みなどについて開催した。参加者は、市町・JA・NOSAIの植物防疫担当者のほか、農薬卸・販売業者、農薬メーカーのプロパー等、全 97 名であった。

(4) 広報業務

会報「植防いしかわ」を年3回(7月、11月、3月)発刊し当協会の行事や事業の進捗状況、農業実験展示圃成績等を掲載し、会員、市町、農業団体等に紹介した。

また、県が発表する病虫害発生予察情報(年8回)を毎回増刷し、JA、NOSAI等の現場指導者、農薬卸業者等に伝達するとともに、当協会のホームページにも掲載して農家や一般県民への周知を図った。

(5) 無人ヘリコプター防除推進業務

水稻、大麦、大豆等の病虫害に対する無人ヘリコプターによる防除面積が約2万6千ヘクタールではほぼ平衡状態となっている中、人畜の安全性に対する確保と周辺環境への汚染を未然に防止するため、石川県農業用無人ヘリコプター運営協議会との連携のもと、オペレーター、ナビゲーターに対する安全講習会を開催(7月3日)し、7月中旬から本格化する水稻病虫害防除に備えた。安全講習会では、ヤマハ発動機株式会社ソリューション事業本部の岩森悠希講師より、「無人航空機防除における安全対策」と題して講演をいただいた。受講者は66名であった。

水稻病虫害の基幹防除が中盤を過ぎた7月29日に、石川県農業用無人ヘリコプター運営協議会の役員と連携し、安全操縦を啓発するため散布現場への早朝巡回を行った。

防除作業が一段落した9月26日に、オペレーターのさらなる資質向上(操縦の基本事項の遵守、操縦技術)に向け、石川県農業用無人ヘリコプター運営協議会と共催し「無人ヘリコプター飛行技術競技大会」を開催した。参加したオペレーターは16名であった。

2 農薬試験事業

〈事業の内容〉

農薬による病虫害及び雑草の防除を安全かつ効率的に実施することを通じて県産農産物の安定生産・安定供給を図る目的のもと、防除効果の高い開発未登録農薬の農薬登録に向けた圃場試験を実施した。

また、新規に登録された農薬の農家への普及に先立ち、県内各地で試験的に使用して現地適応性を検証する試験を実施した。事業費は試験を依頼する農薬メーカー等の全額負担とした。

(1) 開発未登録農薬の実用性試験

農産物の安定生産・安定供給には、病虫害や雑草の防除を安全かつ効率的に実施することが重要であり、そのためには防除効果がより高く、毒性がより低い新農薬を迅速に農家に普及する取り組みが必要となる。

新農薬は、農薬取締法に基づき国の審査を受け農薬登録されなければ販売できない。審査には、公的機関で実施された薬効、薬害、作物残留等に関する試験データが必要となる。当協会では、新農薬の登録審査に必要な薬効・薬害に関する一連の試験を「開発未登録農薬の実用性試験」として、石川県農林総合研究センターとの連携のもと、毎年実施している。

令和元年度は125剤(前年109剤)の試験を受託し、当協会では69剤(前年64剤)を試験し、残り56剤は、石川県農林総合研究センターで試験を実施した。

※ 県の事業名：農薬等新資材地域適応性実証事業

表1 令和元年度 開発未登録農薬の実用性試験実施件数

試験区分			農林総合研究センター					石川 植防	合計
			育種栽培 研究部	資源加工 研究部	砂丘地農 業研究セ	能登特産 物栽培G	林業試験 場		
新 農 薬 実 用 化 試 験	水 稻	殺菌剤		6					6
		殺虫剤		17				42	59
		薬 害		4					4
	大 麦	殺菌剤							
		殺虫剤							
	大 豆	殺菌剤							
		殺虫剤						5	5
	野 菜	殺菌剤			2				2
		殺虫剤			5	2		2	9
		展着剤							
		薬 害			2				2
	花 き	殺菌剤							

実施機関 試験区分			農林総合研究センター					石川 植防	合計
			育種栽培 研究部	資源加工 研究部	砂丘地農 業研究セ	能登特産 物栽培G	林業試験 場		
新農薬 実用化 試験	花 き	殺虫剤	1						1
		薬 害							
	落 葉 果 樹	殺菌剤			2				2
		殺虫剤							
		薬 害							
	寒冷地 果 樹	殺菌剤	2			4			6
		殺虫剤							
		薬 害							
	樹 木	殺菌剤							
		殺虫剤					2		2
	作 物 残 留 試 験	水 稲						1	1
		野 菜						15	15
		果 樹						4	4
新植物調節剤 実用化試験	除草剤 および 生 育 調節剤 試 験	水 稲	6						6
		大 麦							
		大 豆							
		野 菜	1						1
		果 樹							
		残 留							
合 計			10	27	11	6	2	69	125
前年合計			14	15	8	6	2	64	109

石川県植物防疫協会:69 剤(薬効試験 49 剤、作物残留試験 20 剤)

石川県農林総合研究センター:56 剤(薬効試験 50 剤、薬害試験 6 剤)

(2) 新規登録農薬の現地適応性試験

新規に登録された農薬について、農家普及に先立ち県内各地で試験的に使用し、効果の安定性、薬害発生の有無等を確認する「新規登録農薬の現地適応性試験」を実施した。

農薬の登録に当たっては、効果に関するデータがAからDまでの4段階で判定され、C判定以上が農薬登録の条件となっている。

※A: 効果が高い、B: 効果がある、C: 効果は認められるが、その程度はやや低い、
D: 効果は低い

新規に登録された農薬の効果判定レベルは公表されておらず、特にC判定で登録認可された農薬は、使用時期や場所によっては期待するほどの効果が得られない場面も想定される。このため、新規登録剤については本試験を実施している。

令和元年度は59剤で「普及性あり」の判定結果が得られた。これらの農薬は、今後県内に広く普及されることになる。

表2 令和元年度 新規登録農薬の現地適応性試験実施箇所数

農林総合事務所等 区 分	南 加 賀	石 川	県 央	中 能 登	奥 能 登	植 防	箇 所 数 計	農 薬 数 計
水稻・畑作物の除草剤	9* (8)	10* (6)	8* (7)	8 (8)	11* (8)	8 (11)	54 (48)	32 (35)
水稻・畑作物の殺菌・殺虫剤	4 (2)	2 (2)	5 (2)	5 (2)	2 (2)	—	18 (10)	9 (5)
野菜の殺菌・殺虫剤	4 (3)	1 (2)	3 (3)	3 (3)	1 (3)	—	12 (14)	12 (8)
果樹の殺菌・殺虫剤	4 (2)	3 (2)	4 (3)	4 (1)	2 (1)	—	17 (9)	9 (5)
合 計	21 (15)	16 (12)	20 (15)	20 (14)	16 (14)	8 (11)	101 (81)	62 (53)

注1)()は平成30年度 注2)* 未了1剤を含む

表3 主な行事、会議等

月／日	会議・行事名	場 所	概 要
6／4	事務監査	NOSAI 会館	平成30年度の事業執行状況、収支計算書等の監査
6／4	虫供養	農業試験場	虫塚にて仏式で供養

月／日	会議・行事名	場 所	概 要
6／11 ～12	水稻除草剤展示圃試験の現地中間検討会	現地圃場	試験地巡回による効果の確認
6／13	第1回理事会(決算理事会)	NOSAI 会館	平成 30 年度事業報告、収支決算の承認、通常総会の日時、場所、提出議案の決議
6／14	日本植物防疫協会通常総会出席	東京	平成 30 年度事業報告、収支決算の審議等
6／25	農業用無人ヘリコプター運営協議会総会	農業会館	平成 30 年度事業報告、収支決算の承認、令和元年度事業計画等の審議
6／28	第 36 回通常総会	NOSAI 会館	平成 30 年度事業報告、収支決算の承認、令和元年度会費徴収額並びに役員報酬額の決議、役員の補欠選任の決議等
7／3	農業用無人ヘリコプター安全講習会	NOSAI 会館	「無人航空機防除における安全対策」 講師：岩森悠希氏(ヤマハ発動機㈱)
7／17	第 46 回植物防疫指導者研修会	NOSAI 会館	「農業と環境を考える」 講師：宮下清貴氏(公益財団法人日本植物調節剤研究協会理事長)
7／25	植防いしかわ第 151 号発刊	—	公益社団法人石川県植物防疫協会第 36 回総会の概要、第 30 回虫供養式典等
7／26	農薬残留試験GLP査察	NOSAI 会館 現地試験圃	施設、備品の整備・管理状況および試験実施状況の査察(日本植物防疫協会担当者来県)
7／29	無人ヘリコプター安全操縦啓発巡回	現地圃場	無人ヘリコプター運営協議会役員による現地巡回
9／26	無人ヘリコプター飛行技術競技大会	全農いしかわ 種苗センター	参加オペレーター:16 名
10／3	水稻等除草剤実験展示圃試験成績検討会	NOSAI 会館	新規登録除草剤についての地域適応性を検討
11／5	植防いしかわ第 152 号発刊	—	第 46 回植物防疫指導者研修会の概要、水稻等除草剤実験展示圃成績検討会の概要等

月／日	会議・行事名	場 所	概 要
11／11 ～12	新農薬実用性試験成績検討会	ホテル日航金沢	開発未登録農薬の実用性を検討
11／28	植物防疫北陸地区協議会	農政局	植物防疫、農薬行政に関する情報交換
12／11	殺菌・殺虫剤実験展示圃成績検討会	NOSAI 会館	新規登録殺菌・殺虫剤の地域適応性を検討
2／21	試験委員会	NOSAI 会館	次年度の実験展示圃設置薬剤の選定
2／27	第 2 回理事会	NOSAI 会館	令和 2 年度事業計画および収支予算案の審議等
3／10	植防いしかわ 第 153 号発刊	—	令和元年度主要病害虫の発生状況、殺菌・殺虫剤実験展示圃成績検討会の概要等